

愛知

医療法人社団 聖友会

内藤メデイカル・クリニック

最先端医療 がん免疫細胞治療

体内より取り出したNK細胞を先端技術で活性・増殖させ体内に戻しがん細胞を攻撃する治療

心と免疫は一体

細胞が活性化するとメンタルケア

「免疫療法は人間の持つ潜在能力を引き出し、科学的根拠に基づいた免疫細胞治療を加えることによる治療なのです。科学的根拠、また治療実績を基本とし、患者さん自身のがんを克服しようという強い気持ちで免疫細胞をより強く活性化する原点となるのです」

内藤メデイカルクリニックの内藤康弘院長は、「心と免疫は一体である」との考えから、免疫療法にはメンタルのケアが欠かせないと話す。

「個々の患者さんに合わせた丁寧なメンタルケア。患者さんは自ら治療の主体になり、当院はそれをサポートし、それに免疫細胞治療という最先端の治療を加えることにより治療効果を高めるのです」

初診時の問診には長い時間をかけ、患者の質問に答え、不安を取り除いていく。「自分の体内にもともと持つ



明るく清潔感のある院内。専門のスタッフが笑顔で出迎えてくれる

ている免疫細胞でがん細胞を攻撃する治療法です。当院で実施している活性NK細胞療法も、毎日をポジティブに生きている患者さんの方が治療効果が高い傾向にあります。総合的に免疫力を高めていくことが重要です」

独自の手法でNK細胞を培養 QOLを保った治療を提供

私たちの体内には毎日数千個のがん細胞が発生していると言われていて、このがん細胞を排除する役目を果たしているのがNK細胞をはじめとする

免疫細胞だ。がんは、免疫細胞の働きが弱体化した時に発現すると考えられている。

「NK細胞を体内より取り出し、独自の最先端技術で培養、増殖、活性化させて体内に戻してがんを攻撃させるのが活性NK細胞療法の原理です」

その考え方は非常にシンプルで、自らの細胞を使用するため、副作用もなく、QOL（Quality Of Life：生活の質）を保つまま治療ができることも大きなメリットだ。

「NK細胞による免疫細胞治療は基本的にはがんの種類を選びません。末期がん、転移性のがんにも適用でき、がん再発の予防にもその効果が期待されています」

院内に培養設備を完備 すべては患者のために

NK細胞を用いたがん免疫療法に取り組んで15年、7500名以上の治療経験を持つ同院は、独自の細胞培養方法でさらに治療効果を高めている。その



理事長 内藤 康弘 (ないとうやすひろ)
医学博士。東邦大学医学部卒。名古屋聖霊病院院長、住友記念病院理事長を経て2002年に内藤メデイカルクリニックを設立。医療法人社団聖友会理事長を務める。

原点となるのが、厳格な管理に基づいて運用されている培養センターだ。

「新たな手法の研究や技術の向上、次へのステップのためには自前の細胞培養センターが必要不可欠です。当院では専任のスタッフが責任を持って患者さんの細胞を培養しております」

患者の血液から採り分けられたNK細胞は、無菌室で培養され、再び体内に戻される。昨年、第二培養センターを増設。さらに多くの細胞を培養できるようになった。

「患者さんががん治療の選択肢を少しでも広く持っていた



院内に設置された培養センターでは厳密な管理の下、細胞培養が行われている

く。がんという病気の本質に向き合って相互理解を深めて治療に当たりたい。そのための努力を惜しむことはありません」

カウんセリリングによる精神面のケアと、豊富な経験に基づく確かな治療。内藤メデイカルクリニックはがんと闘う患者の伴走者として、新たな可能性を提示し続ける。



医療法人社団 聖友会
内藤メデイカル・クリニック

〒460-0024
愛知県名古屋市中区正木4丁目8番7号
れんが橋ビル5階 TEL:0120-681-731

予約センター **0120-681-731**
【受付時間】8時半～17時(平日)8時半～12時(土)
<http://www.doctor-naito.com>

健康保険適用外 自費診療【治療例】活性NK細胞療法 ¥220,000×6回(1クール)

●取材・文責 大塚一樹 ●企画・制作 (株)アミリレーションズ TEL.03-6276-3633